浜町みらいパークチャレンジ！
かどま
公園のつかいかた、ためしてみよう

（仮称）浜町みらい公園　社会実験イベント

浜町みらいパークチャレンジ！

実施レポート

令和６年 11 月

（仮称）浜町みらい公園　社会実験企画

浜町みらいパークチャレンジ！　実施レポート

■浜町みらいパークチャレンジとは

（仮称）浜町みらい公園の整備にあたり、開園後の公園の空間をイメージしながら、公園の使い方を試行する社会実験企画。地域住民や近隣大学の学生・事業者等と一緒に企画の検討や運営を行いました！

日　時：2024 年 11 月 3 日（日）10：30～14：00
（当初、11 月 2 日（土）開催の予定を雨天のため順延）

場　所：（仮称）浜町みらい公園計画地

■事業概要・スケジュール

浜町みらい公園整備事業は、「門真市パークイノベーション計画」の一貫として、地域の特性やニーズを踏まえ、様々な主体の協働による公園づくりを進めています。今回の社会実験では、ワークショップで作成した計画案をもとに公園の使い方を試行し、設計へ反映します。

令和５年度	ワークショップ	設計
令和６年度	社会実験	
令和７年度	工事	
令和８年度	開園予定	

■目的

今回の社会実験は、公園づくりワークショップで意見が挙がった「やってみたいこと」や「心配ごと」を踏まえ、整備後の公園をイメージした空間・レイアウトで計画地を実際に使ってみることで、期待感を育むとともに、使い方や気を付けることについても確認することを目的に行いました。実施内容は企画ミーティングにより検討し、主に以下の４つのテーマを試行・確認するプログラムを構成しました。

社会実験のテーマ

1	やってみたいこと にぎわいづくり	・「やってみたいこと」を試してみよう！ ・どの程度人が集まるか、また集まった際にどんな空間になるかイベントで試してみよう！
2	空間の使われ方・レイアウト	・それぞれのゾーンの大きさや広さを体験してみよう！ ・施設の配置やレイアウトは問題ないだろうか
3	ボールでの遊び方	・どんなボールなら使っても問題ない？ ・ボールはどのくらい飛びそうか？
4	気を付けるべきこと （ルール・マナー）	・多様な使い方を実現するために必要なルール・マナーはなにか？ ・隣接する住宅などへの影響は？

■企画ミーティング

ワークショップの参加者の中から募集した企画・運営メンバーと、大阪国際大学の学生さんと一緒に全２回のミーティングを実施し、意見交換を行いながらプログラムの内容の決定や準備を行いました。

７月頃から	9/15（日）	10/12（土）	11/3（日）
企画・運営メンバーの募集	第１回ミーティング ・方針の検討 ・やってみたいプログラムの検討　等 参加者：６名	第２回ミーティング ・プログラム案の決定 ・タイムテーブルの検討 ・分担・準備物の確認　等 参加者：８名	社会実験

ミーティングの様子

地域の人を良く知る自治会のメンバーが受付します！

こどもたちに体操を教えてみたい！

子どもたちにも呼び掛けて、ドッジボール大会がしたい！

近くのパン屋さんに出店してもらえないか相談しよう！

集客に向けて

当日は 150 名程度の来場をめざし、浜町みらい小学校の児童と周辺自治会向けに広報チラシを作成し、約８００名に向け配布しました。また、市ホームページでも広報を行いました。

広報チラシ

※11/2（土）雨天のため 11/3（日）に順延しました。

実験結果を紹介します！

1 やってみたいこと・にぎわいづくり

当日は雨天のため日時を順延したにも関わらず、約 200 名の来場者に参加いただきました！
主に小学生や幼児を連れた親子が多く、その他にも計画地周辺の高齢の方等も見られました。地域の方と考えたそれぞれのコーナーでいただいた感想を紹介します！

●受付

多世代の居場所になっている！

開場から閉場までの長時間滞在も！

模型展示/アンケート

●こどものあそびコーナー

普段できない遊びができた！

わりばし射的/コーンホール

●ボール遊びコーナー

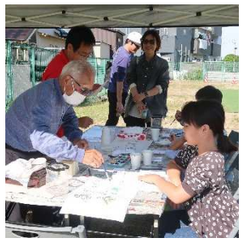
ボール遊びができてうれしい！

ドッジボールが大人気！

ボール投げ体験/ドッジボール大会

●アートコーナー

絵具を混ぜて遊ぶのも新鮮な体験！



絵手紙体験/落書きブース

●マルシェコーナー

開園後も出店できるといいな

パンやドリンクを買えて嬉しい！

パン・ドリンク販売

●芝生コーナー

芝生があるだけでいろんな遊びができる！

ちびっこ遊具体験/芝生ねころび体験

●体操コーナー

身体を動かせる場所があるのがいいな♪

マット運動・体操

2 空間の使われ方・レイアウト

開園後の公園をイメージしたレイアウトで社会実験を行ったことで、計画へ反映すべき点などが見えてきました！

準備の様子

白線やコーンを使って計画案を現地に表示しました！

芝生エリア周辺は少し窮屈に感じるという意見もありました。

ドッジボールを行っても余裕のある広さとなっていました。

こどものボール遊びを大人が見守りながら団らんする程よい距離感となっていました。

駐輪場がピーク時は計画案の約 2 倍（40 台）必要になり、余裕を持った舗装スペースが必要だと確認できました。

歩道が狭く、入口周辺はゆとりのある空間を望む意見がありました。

歩道からこどもが遊ぶ姿がよく見えるレイアウトになっていました。

実験結果を紹介します！

3 ボールでの遊び方

４つのボールで実際にあそんでみて、ワークショップでも特に意見の多かった「どんなボール遊びができそうか？」「使ってよいボールはどれか」「どのぐらい飛ぶか」を確認しました！

社会実験で使用したボール

・今回使用したボールについては全て「使っても良い」という意見が過半数を占めました。
・ただ、ドッジボールは危ないという意見もあり、これより硬いボールは危険な可能性があります。
・「投げる」より「蹴る」場合の方が距離や強さに注意が必要という意見もありました。

・小学生を中心に、ゴムボールを投げて距離を計測しました。
・長辺が約 30mのボール遊び広場に対して、柔らかいボールであれば、飛距離は 20m程度が限度であることが確認できました。

ボールを投げた人にシール投票をしてもらいました！

4 気を付けるべきこと（ルール・マナー）

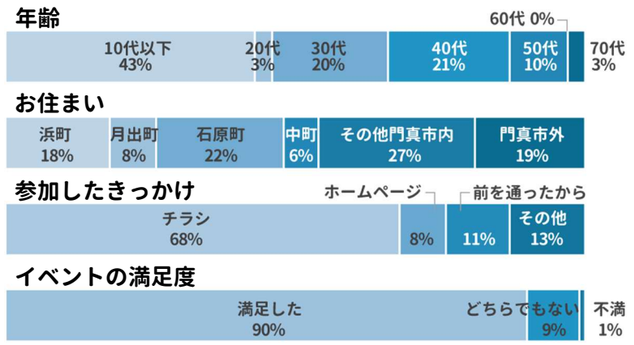
計画地を使ってみて感じた「気を付けるべきこと」を確認するため、来場者への聞き取りを行いました！

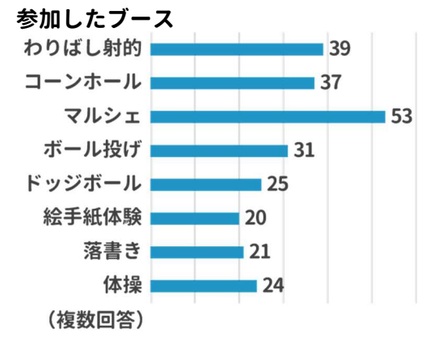
主な意見

■ボール遊びに対する具体的な意見
・バットの使用は危ない
・柔らかいボールであれば、気を付けて遊べば問題ない　等

■全体への意見
・安心して公園を使うために、路上駐車をしない、パトロールや見守りが必要である。
・使ってみると住宅が近く、音が響くように感じ、夜間は静かにする等の配慮も必要ではないか。
・（隣接する住宅の方から）今回のイベントでの音の大きさであれば許容範囲だったとコメントをいただいた。

■来場者アンケート調査結果　N=79





Q．公園計画地をつかってみて、「楽しかったこと」や、「今後やってみたいこと」
・ボール遊びができて楽しかった。ボール遊びができる場所が少ないので、嬉しい。
・こどもたちがのびのび遊ぶ姿がみていて楽しそうだった。
・広くゆったりと過ごすことができて良かった。　等

「ボール遊び」が特徴として捉えられていました。

Q.公園計画地をつかってみて、「気になったこと」や「気を付けるべきこと」
・近隣の住宅への音の配慮ができるか心配。
・ボールが外にでないようにしてほしい。
・小さい子から大きい子まで安全に遊べるようになってほしい。
・日除けできるような屋根や木陰が欲しい。　等

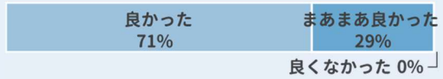
安心して遊ぶための配慮や工夫が求められています。

Q.（仮称）浜町みらい公園に期待すること
・多世代が過ごせる地域に愛される憩いの空間になってほしい。
・他の公園ではあまりできないボール遊びができる公園になってほしい。
・今回のようなイベントを定期的に開催してもらえると嬉しい。　等

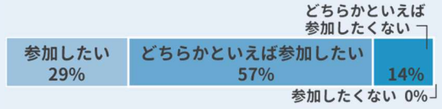
日常利用と、イベント利用の両方が求められています。

■企画・運営メンバー　アンケート調査結果

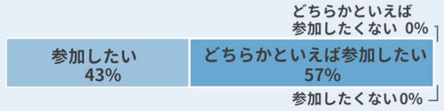
Q．社会実験に企画・運営から参加して良かったか。



Q．今後もこのようなイベントがあれば企画・運営に参加したいか。



Q．今後もこのようなイベントがあれば来場者として参加したいか。



Q.社会実験に参加して、気づいたことや期待すること
・アンケートで来場者の意見が聞けてよかった。
・自分の視点では気づかないことが発見できた。
・公園の計画は良い面ばかりだと思っていたが、音の問題や治安の問題など、マイナス面もあるのだと知った。
・「危ないからできない」ではなく、「できる」ことが多い公園が実現してほしい。
・不定期でも今後もイベントが開催できるとよい。
・（マルシェ出店者より）今後も出店する機会があると嬉しい。

■考察・計画案への反映方針

1 やってみたいこと・にぎわいづくり

・約 200 名の方に参加いただき、実際の公園に近い利用者数により、公園開園後の様子を疑似体験することができました。
（近隣の月出中央公園の一日の平均利用者数が 144 人：門真市パークイノベーション計画より）
・小学校に隣接していることや、前面道路の車通りは少ないが歩道があり、安全にアクセスできることなど、住民が立ち寄りやすい立地特性があり、公園開園後もイベントの開催場所に適しているのではないかと感じられました。
・大学生がこどもたちの遊びをサポートすることで、ドッジボールやマット運動など、普段できない使い方ができました。子ども達のより自由な遊びをバックアップするプログラムや仕組みについても展開できる可能性を感じられました。

2 空間の使われ方・レイアウト

・実際に公園のレイアウトを再現することで、スケール感や距離感などを体感・共有することができました。今回得られた結果をもとに微修正し、実際の使われ方を反映した公園をめざします。

3 ボールでの遊び方

・周辺にボール遊びができる公園が少なく、ボール遊びに対する需要が大きいことを再確認することができました。
・使ってよいボールの種類だけでなく、「ルールを明示することが大事！」という意見もあり、必要なルールを今後も検討していきます。

4 気を付けるべきこと（ルール・マナー）

・参加者から、近隣の住宅への音の配慮が必要ではないかという意見とともに、隣接する住宅の方からは今回の社会実験での音は許容範囲であるという意見もいただきました。夜間の使い方など、細やかに検討を進めていきます。
・今回の実験結果を参考にしながら、（仮称）浜町みらい公園に適したルール・マナーを作成し、サイン看板として公園内に設置します。

■アドバイザー・学識者からのコメント

大阪公立大学 加我先生より

・地域の方と一緒に開催でき、今後につながる良い機会になりました。
・いろんな世代が集まって、「できない」ことを考えるのではなく、「できる」ことを試行する場になっていました。今後もみんなが少しずつ気を付けながら気持ちよく使える公園になってほしいと思います。

大阪国際大学 小竹森先生より

・近隣の公園とのすみ分けが重要であるとより実感しました。ボール遊びに対する期待が大きく、「ボール遊びはここ！」となるような人の集まる公園になってほしいと思います。